

情報セキュリティ方針

当社は、測量、建設コンサルタント、公共調査業務、補償コンサルタント、地理情報システム等における事業活動を通じ、お客様や取引先様からお預かりした情報資産、及び当社の情報資産をあらゆる脅威から守ることを責務と考え、情報セキュリティを適切に管理するための仕組みを構築し、維持・運用することで、お客様や社会の信頼に応えます。このため、次の通り情報セキュリティ方針を定め、徹底を図ってまいります。

1. 情報セキュリティの取組み

情報セキュリティの管理体制を確立し、これを確実に実施するための規程及び規則を定め、情報セキュリティマネジメントシステムを効果的に運用します。

2. 法令・規範の順守

情報セキュリティに関する法令及びその他の規範、並びに契約上のセキュリティ要求事項を順守します。

3. 情報セキュリティ目的の策定と実行

この情報セキュリティ方針を実施し確立させるため、各部門が情報セキュリティ目標を策定し、達成いたします。情報セキュリティ目標は年1回見直し、適正に運用いたします。

4. 情報資産の保護

当社が保有する情報資産をあらゆる脅威から保護し、機密性、完全性、可用性を保持するための対策を講じます。

5. 事故への対応

情報セキュリティ事故の防止に努めるとともに、万一事故が発生した場合には、原因の究明、並びにその対策を速やかに実施し、再発防止を含めて適切に対処します。

6. 教育・訓練の実施

全ての役員及び社員に対して、情報セキュリティの重要性を認識させるべく、必要な教育・訓練を実施します。

7. 継続的改善の実施

本方針が順守されていることを定期的に確認し、その有効性を維持するために継続的な見直しと改善に努めます。

2019年4月1日

株式会社 大輝

代表取締役 岡野 一徳

情報セキュリティ方針群

当社は、下記の情報セキュリティ個別方針に基づき、情報セキュリティマニュアルの定めに準拠して事業活動を行います。

1. モバイル機器方針 (A. 6. 2. 1)

モバイル機器の社外利用は、セキュリティ対策が施された当社管理下の端末に限り、承認に基づいて運用するものとします。

2. アクセス制御方針 (A. 9. 1. 1)

当社及びお客様が保有する情報及び情報システムへのアクセスは、承認に基づいて行うことを原則とし、恒常的に利用する情報システムについてはアクセス権が設定されたアカウントを用いるものとします。

3. 暗号鍵利用方針 (A. 10. 1. 1 ・ A. 10. 1. 2)

暗号鍵を用いたアクセスを行う場合、承認を受けた者のみが暗号鍵を使用できるよう措置を講じるものとします。

4. クリアデスク・クリアスクリーン方針 (A. 11. 2. 9)

重要な業務情報を含んだ紙や電子記憶媒体を机上に放置せず、コンピュータ画面は許可の無い閲覧ができないよう必要な措置を講じるものとします。

5. バックアップ方針 (A. 12. 3. 1)

バックアップは、事業継続が妨げられないよう必要の範囲で行い、データ復旧が可能な状態を維持するものとします。詳細な手順は、ルールブックに定めて運用します。

6. 情報転送方針 (A. 13. 2. 2)

情報の転送の際には、発信者の意図しない情報が混入しないよう適切な措置をとるものとし、発信後においても第三者に閲覧させないための必要な措置をとるものとします。

7. システム開発方針 (A. 14. 2. 1)

システム開発環境は、物理的、電子的な不正アクセスを防止する措置を取り、承認された者のみがアクセスできるしくみで運用し、定期的な保守管理を実施するものとします。また、システム開発手順は、品質マネジメントシステムの定めに従うものとします。

8. 供給者セキュリティ方針

当社の事業活動における協力会社への情報提供は、当社情報セキュリティマネジメントシステムの定めに準じる旨を誓約した協力会社に限り、提供する情報は need-to-know の原則で必要の範囲に留めるものとします。

2019年4月1日

株式会社 大輝

代表取締役 岡野 一徳

※情報セキュリティ方針及び情報セキュリティ方針群は、JIS Q 27001/ISO/IEC27001 (2014/2013 年版) に基づく情報セキュリティマネジメントシステムの運用開始に伴い、制定したものです。毎年4月に当方針及び当方針群のレビュー及び組織内伝達を行っております。